

令和5年度国士舘大学
第21回楓教育会総会



LINE QR コード



ホームページ QR コード

		総合司会	副理事長
1	開会の言葉	副会長	
2	挨拶	会長	田代 和正
	国士舘大学 同窓会総務理事・同窓会東京都支部会顧問 来賓および顧問紹介		山内 善司 様
3	議長・書記選出	議長 書記 議事録署名人	会長 常任理事 常任理事
4	議事		
	(1) 第1号議案 令和4年度 事業報告		理事長
	(2) 第2号議案 令和4年度 決算報告 監査報告		会計 監査
	(3) 第3号議案 令和5年度 役員(案)		会長
	(4) 第4号議案 令和5年度 事業計画(案)		理事長
	(5) 第5号議案 令和5年度 予算(案)		会計
	(6) その他		理事長
5	報告事項		
	楓教育会だより		理事長
	ホームページ及び通信費削減対策		副理事長
6	閉会の言葉		副会長
	終了後、懇親会を開催します。		

(お知らせ)

ご提供いただいた個人情報は、国士舘大学楓教育会個人情報保護の方針に従い、教員採用選考試験等の支援活動やこれらに付随する活動を行う目的の範囲内で利用させていただきます。また、法令に定めがある場合などを除いて、事前に同意を頂くことなく、利用目的以外に使用または外部提供いたしません。

(1) 第1号議案 令和4年度事業報告

月	大学(令和4年度学年暦)	教職支援室・楓教育会
4	(木)入学式 春期授業開始	
5		
6	顧問・会長による理事 事長・学長訪問	1(水)15:00～会計説明(会計監査はメールで実施) 8(水)18:00～第1回役員会(LINEミーティングによる会議)柴田会館 14(火)楓教育会「総会」案内状発送 18(土)楓教育会だより第10号発行・配布 18(土)第2回面接練習・研修会(講師派遣なし) 世田谷キャンパス 18(土)16:00～第1回教職支援室会議 20(月)講師依頼状発送
7	10(日)首都圏(1次) 春期定期試験	8(金)第3回、4回面接研修会参加募集締切 16(土)14:00～第20回楓教育会総会 柴田会館3F研修室 15:00～楓教育会創立20周年記念式典 柴田会館3F研修室 23(土)第3回面接練習・研修会(講師派遣なし) 世田谷キャンパス
8		6(土)第4回面接練習・研修会(講師派遣なし) 世田谷キャンパス
9	14(水) 秋期授業開始	教授対策ガイダンス13:00～(新規事業)
10	鶴川祭	1(土)パネリスト依頼状、質問事例発送
11	楓門祭 4(金)創立記念日 多摩祭	臨時任用教員・非常勤講師等募集状況調査(楓教育会会員による) 学校ボランティア・インターンシップ等希望者への支援 26(土)15:00～第2回教職支援室会議 世田谷教職支援室
12	27(火)～1/5(木) 冬季休業	10(土)14:00～第2回役員会 14:00～ 13(火)教員採用試験合格体験報告会 世田谷キャンパス 17(土)赴任前実践力養成講座 受付12:30 開講式12:50、 パネル①13:05～パネル②14:05、閉講式15:50
1	秋期定期試験	臨時任用教員・非常勤講師等募集状況調査(楓教育会会員による) 学校ボランティア・インターンシップ等希望者への支援
2	秋期授業終了	25(土)楓教育会だより第12号発行・配布 25(土)第1回面接練習・研修会 世田谷キャンパス 令和6年度教員採用試験対策ガイダンス 25(土)16:00～第3回教職支援室会議 春期特別対策講座 世田谷教職支援室
3	20(日)卒業式	11(土)14:00～第3回役員会 場所未定

- (課題)
- ・首都圏・関東地区代表者LINEミーティングについて
 - ・会員拡大について
 - ・面接練習・研修会への講師派遣について

(2) 第2号議案 令和4年度 決算報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 収入の部

(単位：円) 予算額に対して減 △

科目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
会費	80,000	60,000	△20,000	30名×2,000円
繰越金	237,608	237,608	0	
援助金	50,000	50,000	0	国土館大学同窓会援助
雑収入	0	15,000	15,000	創立20周年式典お祝い
合計	367,608	362,608	△5,000	

2. 支出の部

(単位：円) 予算額に対して減 △

科目	予算額	決算額	比較増減(△)	摘要
総会費	8,000	2,176	5,824	創立20周年式典 国旗
印刷費	2,000	0	2,000	
通信費	60,000	41,314	18,686	郵券、ホームページビルダー
会議費	20,000	15,625	4,375	柴田会館会議室使用料
研修会費	100,000	0	100,000	面接研修会、赴任前講座
事務費	20,000	7,122	12,878	インク代、印刷用紙
予備費	157,608	0	157,608	
合計	367,608	66,237	281,371	

3. 差引残高

$$362,608 - 66,237 = 296,371$$

上記残高は、次年度へ繰り越します。

令和5年 4月26日

国土館大学楓教育会

会計 工藤 公彦 ㊟

会計 堀江 朋一 ㊟

監査報告

国土館大学楓教育会の令和4年度収支決算書および関係書類を監査した結果、その内容が適性であると認めます。

令和5年 4月26日

監査 佐藤 恒夫 ㊟

監査 飯塚 正人 ㊟

(3) 第3号議案(その1) 令和5年度役員(案)

令和5年度 国土舘大学楓教育会役員(案)

顧問	阿部 勲 田邊 修 筒井 邦夫 土居 重一 山内 善司 平田 紘一 平林 健	
会長	田代 和正	
副会長	会務統括	逢見 百樹 竹中 綺子
	庶務	足立 和明
	広報	坂本 徳雄
理事長 副理事長	庶務 庶務	清水 真 教職支援室と楓教育会との連絡調整 庄子 眞也 ホームページ担当・楓教育会だより担当 黒澤 義和 東京都小学校担当・楓教育会だより担当 柏瀬 健一 教職希望者・卒業生ネットワーク、楓教育会だよりなど
事務局長 副事務局長	庶務 広報	菅野 潤一 筒井 邦夫、庄子 眞也、杉浦 雅人、坂本 徳雄 ホームページ担当・楓教育会だより担当
常任理事	庶務担当	市之瀬 輝明 坂下 惣栄 佐藤 美紀
	会計担当	堀江 朋一 工藤 公彦
	広報担当	井戸川 康弘 加藤 明 石川 明(退会)
	研修担当	齊藤 久 石渡 淳史 有賀 康美 松原 誠
会計	工藤 公彦 堀江 朋一	
会計監査	飯塚 正人 朝日 吉則 佐藤 恒夫(退会)	
各都道府県 代表理事	北海道	北海道
	東北	◇青森県◇岩手県◇宮城県◇秋田県◇山形県◇福島県
	北信越	◇新潟県◇長野県◇富山県◇石川県◇福井県
	関東	◇栃木県◇茨城県◇群馬県◇山梨県
	首都圏	◇東京都◇神奈川県◇埼玉県◇千葉県
	東海	◇愛知県◇岐阜県◇静岡県◇三重県
	近畿	◇大阪府◇兵庫県◇京都府◇滋賀県◇奈良県◇和歌山県
	中国	◇鳥取県◇島根県◇岡山県◇広島県◇山口県
	四国	◇徳島県◇香川県◇愛媛県◇高知県
	九州	◇福岡県◇佐賀県◇長崎県◇熊本県◇大分県◇宮崎県◇鹿児島県
	沖縄	◇沖縄県

(3) 第3号議案 (その2)

令和5年度 国士舘大学楓教育会全国都道府県代表理事一覧 (案)

令和2年2月29日 (土) 現在

No.	都道府県	代表理事	No.	都道府県	代表理事
1	北海道	風上 勝幸	25	滋賀	加藤 明 (代理)
2	青森	村木 陽三	26	京都	高橋 征夫
3	岩手	逢見 百樹 (代理)	27	大阪	小出 辰次郎
4	宮城	今泉 信安	28	兵庫	藤田 善啓
5	秋田	一ノ関 敏秋	29	奈良	駒谷 輝男
6	山形	森 保二	30	和歌山	飯塚正人 (代理)
7	福島	水野 良信	31	鳥取	草刈 啓修
8	茨城	清水 昂	32	島根	落合 祥成
9	栃木	富川 黎司	33	岡山	木村 方香
10	群馬	蛭間 謙次	34	広島	向山 徹
11	埼玉	大河原 宏	35	山口	佐野 哲也
12	千葉	松岡 毅	36	徳島	岡 唯勝
13	東京	竹中 綺子	37	香川	橋野 純
14	神奈川	斉藤 えつ子	38	愛媛	渡邊 道徳
15	山梨	清水 光雄	39	高知	野並 一字典
16	長野	笹井 計知	40	福岡	宮崎 勤也
17	新潟	明野 博明	41	佐賀	平川 廣
18	富山	高瀬 彰	42	長崎	城 保二
19	石川	東 国保	43	熊本	坂本徳雄 (代理)
20	福井	渡邊仙二 (代理)	44	大分	吉田 敏孝
21	岐阜	足立和明 (代理)	45	宮崎	土屋 雅雄
22	静岡	山梨 公良	46	鹿児島	東 伸孝
23	愛知	早田 義和	47	沖縄	津森 義弘
24	三重	美女平 佳宏			

※ 令和2年度作成のため、今後、国士舘大学同窓会のご指導をいただかなければならない状況にあります。ご理解のほどよろしく願いいたします。

(4) 第4号議案(その1) 令和5年度事業計画(案)

1 会員名簿の作成と入会会員の整備

首都圏・関東地区代表者会の開催、東京都内小学校の本学卒業生との連携による会員拡大
(例) 教職志望の学生対象:1年次より「学校ボランティア体験など」の受け入れ

関東地区分担

【東京】	・阿部 勲	・山内善司	・土居重一	・佐藤美紀	
【神奈川】	・平林 健	・平田紘一	・田代和正	・工藤公彦	・坂下惣栄
【埼玉】	・筒井邦夫	・逢見百樹	・坂本徳雄	・柏瀬健一	・松原誠
【群馬】	・足立和明	・飯塚正人	・井戸川泰弘		・菅野潤一
【栃木】	・加藤 明	・竹中綺子	・齊藤 久		
【茨城】	・堀江朋一	・市之瀬輝明			
【千葉】	・田邊 修	・朝日吉則	・清水 真	・庄子眞也	

2 教員採用試験面接・研修会⇒教職課程運営センター・楓教育会共催

第2回面接研修会	令和5年 6月17日(土)	世田谷校舎
第3回面接研修会	令和5年 7月22日(土)	世田谷校舎(共催)
第4回面接研修会	令和5年 8月 5日(土)	世田谷校舎(共催)
教採対策ガイダンス	令和5年 9月13日(水)	世田谷校舎
赴任前実践力養成講座	令和5年12月16日(土)	世田谷校舎(共催)
第1回面接研修会	令和6年 2月24日(土)	世田谷校舎

3 会員相互の親睦・研修—ホームページ運営・充実

4 顧問・正副会長による大学・同窓会との情報交換等(理事長・学長訪問)

5 楓教育会役員会・総会等

(1) 会計監査	令和5年 4月22日(土)	14時00分～	世田谷
(2) 第1回役員会	令和5年 6月 7日(水)	18時00分～	柴田会館
(3) 令和5年度第21回楓教育会総会			
	令和5年 7月15日(土)	14時00分～	柴田会館
(4) 第2回役員会	令和5年12月 9日(土)	14時00分～	柴田会館
(5) 第3回役員会	令和6年 3月 9日(土)	14時00分～	柴田会館

6 楓教育会だより13・14・15号発行(全国配信)・開催文書(データ配信)・ホームページ運営

・会員拡大(メールアドレス、個人情報保護)・東京都内小学校の本学卒業生との連携

◎教育実習校がないと困っている学生、学校ボランティア体験を希望する学生を支える仕組みづくり

◎首都圏・関東地区代表者会の開催

No.	都道府県	担当者(～令和4年度)	担当者(令和5年度～)
8	茨城	清水 昂	
9	栃木	富川 黎司	
10	群馬	蛭間 謙次	
11	埼玉	大河原 宏	大河原 宏
12	千葉	松岡 毅	
13	東京	竹中 綺子	竹中 綺子
14	神奈川	斉藤 えつ子	
15	山梨	清水 光雄	

(4) 第4号議案 (その2) 令和5年度事業計画(案)

国土館大学 楓教育会

令和5年7月15(土)現在

月	大学(令和5年度学年暦)	教職支援室・楓教育会
4	入学式 春期授業開始	22(土)14:00～会計監査(会計監査は郵送かメールで行う)
5		8(月)楓教育会第1回役員会開催案内状発送
6	顧問・会長による理事長・学長訪問	7(水)18:00～第1回役員会 柴田会館 15(木)楓教育会「総会」開催案内状発送 17(土)楓教育会だより第13号発行(第2回面接練習・研修会時に配布) 17(土)第2回面接練習・研修会(1次試験対策)世田谷キャンパス 17(土)16:00～第1回教職支援室会議 19(月)講師依頼状発送
7	9(日)首都圏(1次)春期定期試験	7(金)第3回、4回面接研修会参加募集締切 15(土)14:00～第21回楓教育会総会 柴田会館1F会議室 22(土)第3回面接練習・研修会(2次試験対策)世田谷キャンパス
8		5(土)第4回面接練習・研修会(2次試験対策)世田谷キャンパス
9	秋期授業開始	13(水)教採対策ガイダンス 13(水)楓教育会だより第14号発行(教採対策ガイダンス時に配布)
10	鶴川祭	2(月)パネリスト依頼状、質問事例発送
11	楓門祭 4(土)創立記念日 多摩祭	臨時任用教員・非常勤講師等募集状況調査(楓教育会会員による) 学校ボランティア・インターンシップ等希望者への支援 25(土)15:00～第2回教職支援室会議 世田谷教職支援室
12	冬季休業	9(土)14:00～第2回役員会 柴田会館 教員採用試験合格体験報告会 世田谷 16(土)赴任前実践力養成講座 受付12:30 開講式12:50、 パネル①13:05～パネル②14:05、閉講式15:50
1	秋期定期試験	臨時任用教員・非常勤講師等募集状況調査(楓教育会会員による) 学校ボランティア・インターンシップ等希望者への支援
2	秋期授業終了	24(土)楓教育会だより第15号発行(第1回面接練習・研修会時に配布) 24(土)第1回面接練習・研修会 世田谷キャンパス 令和6年度教員採用試験対策ガイダンス 24(土)16:00～第3回教職支援室会議 春期特別対策講座 世田谷教職支援室
3	20(水)卒業式	9(土)14:00～第3回役員会 柴田会館

検討事項

- (1) 首都圏・関東地区代表者 LINE ミーティングについて
- (2) 会員拡大について
- (3) 面接練習・研修会への講師派遣について

(5) 第5号議案 令和5年度 予算(案)

収入の部

(単位:円) 前年度予算額に対して減 △

科目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	摘要
会費	80,000	80,000	0	40名×2,000
繰越金	296,371	237,608	58,763	

援助金	50,000	50,000	0	国土館大学同窓会援助
雑収入	0	0	0	
合計	426,371	367,608	58,763	

支出の部

(単位：円) 前年度予算額に対して減 △

科目	今年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	摘要
総会費	8,000	8,000	0	会場費
印刷費	2,000	2,000	0	案内状、楓教育会だより
通信費	60,000	60,000	0	郵券、ホームページ使用料 1550×12=18,600
会議費	20,000	20,000	0	役員会・理事会・会場費 ①総会(柴田会館) ②役員・理事会
研修会費	100,000	100,000	0	①面接研修会(講師謝礼、昼食等の補助) ②赴任前実践力養成講座
事務費	20,000	20,000	0	封筒、インク、印刷用紙 手数料
予備費	216,371	157,608	58,763	
合計	426,371	367,608	58,763	

令和5年7月15日

楓教育会会長 田代 和正 ㊟

会計 工藤 公彦 ㊟

会計 堀江 朋一 ㊟

国土館大学楓教育会会則

第1条 本会は、国土館大学楓教育会と称し、所在地を理事長自宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の研修、親睦と後進の指導等にあたり、教育の充実に寄与することを目的とする。

第3条 本会の目的を達成するために、次の事業を推進する。

- (1) 国土館大学及び教育関係諸機関との連携提携に関する事。
- (2) 会員相互の研修による資質の向上に関する事。
- (3) 教育情報の交換と研究に関する事。
- (4) その他、本会の目的達成に必要な事。

第4条 本会は、国土館大学出身者で、全国の教育関係に勤務する教職員・賛助会員等を会員とする。

第5条 本会は、各都道府県ごとに理事を置く。

第6条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名	副会長	若干名	理事長	1名	副理事長	若干名	会計	若干名
事務局長	1名	常任理事	若干名	理 事	各都道府県	若干名	監査	2名	

第7条 役員の出選は次の通りとする。

- (1) 会長、副会長は常任理事会で推薦し、総会で承認を得る。
- (2) 理事長は、常任理事会で推薦し、総会で承認を得る。
- (3) 常任理事は会長が指名し、総会で承認を得る。
- (4) 監査は、常任理事会で選出し、総会で承認を得る。

第8条 役員任期は、2年とする。ただし再任はさまたげない。

・役員に欠員が生じた時は、常任理事会にはかつて会長が委嘱する。その後任者の任期は前任者の残任期間とする。

第9条 役員任期は次の通りとする。

- (1) 会長は本会の代表者として会務を総括し、会議の議長を務める。
- (2) 副会長は会長を助け、会長に事故のある時はその職務を代行する。
- (3) 理事長は、事務を掌り、理事会を掌握する。
- (4) 常任理事は会務を執行し、その事務処理にあたる。事務処理のための事務局を置き、常任理事の中から、理事長を選出する。
- (5) 常任理事は本会の目的を達成するために、庶務、会計、広報、研修等の会務を分担する。
- (6) 事務局長は、会長の命により、事務局を統括し、事業の推進及び事務処理にあたる。
- (7) 理事は各都道府県を代表するとともに会務を審議する。
- (8) 監査は、この会の経理を監査する。

第10条 本会に顧問を置くことができる。顧問は常任理事会で推薦し、総会で承認を得たのち会長が委嘱する。

第11条 本会の総会は、会長が招集し、毎年6月に行う。また、必要に応じて臨時に開くことができる。

第12条 総会で審議する事項は次の通りとする。

- (1) 事業計画
- (2) 予算・決算
- (3) 会則の改廃
- (4) 役員承認
- (5) その他の重要事項

第13条 総会の議決は、出席会員の過半数の賛成を必要とする。

第14条 やむを得ない事由により総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は電子メールなどの電磁的方法若しくはファクシミリをもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合においては、第13条の規定の適用については、出席したものとみなす。

第15条 緊急な事情で総会が開けないときは、理事会の決議をもってこれに代えることができる。さらに理事会が開催できないときは、常任理事会をもってこれにあてる。常任理事会が開催できないときは、第14条の規定の適用をもってこれにあてることができる。

第16条 理事会、常任理事会、三役会議は必要に応じて会長が招集する。

第17条 本会の会費は、会費、寄付金、その他の収入で支弁する。

第18条 本会の会費は年額2,000円とする。

第19条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日とする。

第20条 運営上必要な細則は、常任理事会で審議し、別に定める。

第21条 本会の会則を改正するときは、総会において出席会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

付 則

会則制定 平成15年12月 6日制定
平成19年 7月14日改正
令和 2年 6月13日改正
令和 4年 7月16日改正

(資料)

2023年3月吉日

国土館大学楓教育会の皆様へ

国土館大学楓教育会
会 長 田代 和正

楓教育会だより

活學-令和時代における「楓教育会」の使命-

の紙面による発行の廃止について - 「ホームページ」での通知に一本化します -

萌芽の候、会員のみなさまにおかれましては、益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

さて、楓教育会では、会員のみなさまに「活學-令和時代における「楓教育会」の使命-」を会報として定期的に発行しております。活動状況をご紹介させていただき、会員相互の情報交換そしてみなさまからのご協力をいただくことで、楓教育会の使命であります「学生支援の充実」を狙いとしております。

2023年3月までこの会報は、紙面による発行（郵送）とWebサイト・楓教育会ホームページ「教職の国士館を推進する楓教育会-真の教育者我が国士館に期待する-」へ掲載を行ってまいりましたが、昨今の生活習慣、インターネット環境の充実等を鑑み、新年度となります次期令和5年度（2023年4月）より紙面による発行を廃止し、「Webサイト掲載・一本化」とさせていただくことといたしました。紙面での発行を廃止することにより、経費節減（郵券等）のほか、個人情報漏洩リスクも軽減されることを期待しております。

Webサイト・楓教育会ホームページ「教職の国士館を推進する楓教育会-真の教育者我が国士館に期待する-」は、いつでも閲覧が可能です。トピックスや緊急連絡（会議連絡など）も随時更新しております。また、お問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせをいただくこともできるようになっておりますので、まだご利用されていない方は、ぜひURLをご登録いただき、ご活用いただきたくお願い申し上げます。

楓教育会ホームページ <https://kokushikan-kaedekyoikukai.com/>

楓教育会ホームページ QRコード

従前通りの郵送による「書面通知」をご希望なされる場合、並びにご不明な点等がありましたら、お手数をおかけしますが、下記までご連絡いただければ幸いです。

坂本徳雄 理事長 yf230052-5737@tbz.t-com.ne.jp 090-4133-2242

庄子眞也 副理事長 shauji_s@hotmail.com 090-3530-7649

何卒、よろしくお願い申し上げます。



ござ

(資料) 東京楓会および 楓教育会の歴史

第20(37)回楓教育会総会資料

周年(楓会)	年度	主な活動内容
1	1987(昭和62)年度	初代 阿部 勲「東京楓会」東京都教職員中心に活動
2	1988(昭和63)年度	〃 阿部 勲
3	1989(昭和64/平成元)年度	〃 阿部 勲
4	1990(平成2)年度	〃 阿部 勲
5	1991(平成3)年度	〃 阿部 勲

6	1992 (平成 4) 年度	〃 阿部 勲
7	1993 (平成 5) 年度	〃 阿部 勲
8	1994 (平成 6) 年度	〃 阿部 勲
9	1995 (平成 7) 年度	〃 阿部 勲
10	1996 (平成 8) 年度	〃 阿部 勲
11	1997 (平成 9) 年度	〃 阿部 勲
12	1998 (平成 10) 年度	〃 阿部 勲
13	1999 (平成 11) 年度	〃 阿部 勲
14	2000 (平成 12) 年度	〃 阿部 勲
15	2001 (平成 13) 年度	〃 阿部 勲
16	2002 (平成 14) 年度	〃 阿部 勲
1 (17) 回	2003 (平成 15) 年度	初代 田邊 修 12 月 「楓教育会」 発会式・総会
2 (18) 回	2004 (平成 16) 年度	〃 田邊 修
3 (19) 回	2005 (平成 17) 年度	〃 田邊 修
4 (20) 回	2006 (平成 18) 年度	〃 田邊 修
5 (21) 回	2007 (平成 19) 年度	〃 田邊 修
6 (22) 回	2008 (平成 20) 年度	〃 田邊 修
7 (23) 回	2009 (平成 21) 年度	〃 田邊 修
8 (24) 回	2010 (平成 22) 年度	〃 田邊 修
9 (25) 回	2011 (平成 23) 年度	2代 筒井 邦夫
10 (26) 回	2012 (平成 24) 年度	〃 筒井 邦夫 楓教育会創立 10 周年記念事業
11 (27) 回	2013 (平成 25) 年度	〃 筒井 邦夫
12 (28) 回	2014 (平成 26) 年度	3代 土居 重一 教職支援室を 3 キャンパスに開設
13 (29) 回	2015 (平成 27) 年度	〃 土居 重一
14 (30) 回	2016 (平成 28) 年度	〃 土居 重一
15 (31) 回	2017 (平成 29) 年度	〃 土居 重一
16 (32) 回	2018 (平成 30) 年度	4代 田代 和正
17 (33) 回	2019 (平成 31/1) 年度	〃 田代 和正 楓教育会だより創刊号発行
18 (34) 回	2020 (令和 2) 年度	〃 田代 和正 8 月ホームページ、12 月 LINE 開始
19 (35) 回	2021 (令和 3) 年度	〃 田代 和正
20 (36) 回	2022 (令和 4) 年度	〃 田代 和正 楓教育会創立 20 周年記念式典
21 (37) 回	2023 (令和 5) 年度	〃 田代 和正
22 (38) 回	2024 (令和 6) 年度	
23 (39) 回	2025 (令和 7) 年度	
24 (40) 回	2026 (令和 8) 年度	
25 (41) 回	2027 (令和 9) 年度	
26 (42) 回	2028 (令和 10) 年度	